



ま とく れい こう 励徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



真っ赤だった紅葉も散ってしまいました

第 30 号

R5.12.1 発行

文責 永田 功臣

来年度のリーダーとしての自覚

「励徳プライド」表現期間 ～ 5年生編 ～

10月31日(火)に5年生は、掛け干ししておいたマイ田んぼの稲を松永さんや6年生と一緒に足踏み脱穀機で脱穀を行いました。そして11月17日(金)に採れた粃をライスセンターに持参し、粃摺りをしてもらいました。しっかりと体験や質問等を重ねながら米作りについて学んでいます。



また、修学旅行で6年生と担任の先生がいない中、昼休みの全校遊びの「けいどろ」を企画・実施してくれました。

2学期も後半に入っていますが、5年生に少しずつ学校のリーダーとしての自覚が高まっている様子がうかがえます。いろんな考えや個性があり、集団をまとめることは難しい事ではありますが、これまでの先輩の姿を参考にして、今後自分たちらしい「励徳プライド」を形にしていってほしいと思います。

キラリと光る励徳っ子

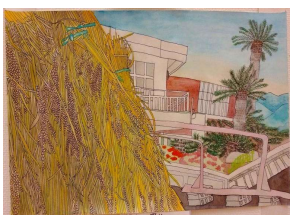
<宇城絵画展>

金賞 「秋の実り」

5年 杉本 月鈴

※ 残りの分については次回掲載

※ 県に出品されます↑↑



<文集ゆめ> ※ 印の人は本文が掲載されます

- 1年 高田悠貴「いねかりをして」 下田琴葉「いねかりをして」
- 2年 ※渡邊大翔「みんなでいねかり」 田村ゆず「楽しいいねかり」
- 3年 平野茉緒「楽しかった田植え」
- 4年 ※高田美優「上学年初めてのいねかり」 ※山田麻陽「思い出になったいねかり」
- 5年 ※増永初華「心に残った田植え」 林田花暖「大変だったけど楽しかった稲刈り」
山田静衣「水俣に学ぶ肥後っ子教室で学んだこと」
- 6年 ※島村竜輝「最後の稲刈り」 黒田那月「花と星」

☆はらから☆

～キラリと光る励徳っ子～

励徳小は、全員が必ず米、いも、茶等、1年に1度は土に触れて、収穫する体験をし、採れたものを食べる機会があります。食に対する感謝の気持ちや豊かな心を育むうえで、貴重な体験をさせていただいています。豊かな自然や地域の方々のおかげがあって生きているという実感を持ち、ふるさとや学校に誇りを持ちましょう。そして、自信につなげましょう。

「いもほり」
一年 田村 稀道



もっとサイエンス



霜が降りるようになり、朝晩の冷え込みが強くなりました。手が冷たくて、思わず両手をこすりあわせました。ふと考えました。何でこすると温かくなるのだろうと。また、火を使わずに電気で温める、電子レンジや電磁調理器(IH)などがありますが、どういう仕組みなんだろうと好奇心が次々とわいてきます。

ちょっと調べてみると、共通点がありました。それは、ものを作っている小さな粒が、互いにぶつかったり、こすれたりして「熱」に変わっているようです。電子レンジはマイクロ波という電波、電磁調理器は磁石の力によって、水や鉄の小さな粒を振動させ、こすり合わせて温かくします。目に見えない世界ですが、まずは不思議なことに興味を持つことが大事です。

ガードレールが白くきれいに

登校坂の脇のガードレールが、水をはじき白く光っています。これは、タクシー運転手の永津さんら有志が、古希のお祝いの後に、母校に何か恩返しができないかという思いから、ペンキで塗っていただいたものです。感謝です。

